

東京大学史料編纂所 国際研究集会



東京大学史料編纂所では、2019 年度から「維新史料研究国際ハブ拠点形成プロジェクト」を開始し、幕末維新史データベース（「維新史料綱要」DB）の英訳化や、「大日本維新史料稿本」（4200 冊、90 万コマ）の英語検索による閲覧・公開実現に取り組むと同時に、歴史用語・史料用語の英訳グロッサリー研究も進めています。また、所蔵する数万点の幕末維新関係史料のデジタルアーカイブ化や海外所在日本関係史料の調査・収集も並行して行っています。

この度、「維新史料綱要 DB」の英訳化作業を通じて行ってきたグロッサリー研究での大きな課題である、歴史概念や史料用語の翻訳をめぐる問題に焦点を当てた国際研究集会を開催します。今回は、英語圏で実際に日本近世史研究を行ってきた研究者から、最近邦訳が出版されたご著書を題材に、ご研究における翻訳でのご工夫・ご苦労について伺い、今後のグロッサリー研究の一層の充実へとつなげていきます。

- ルーク・ロバーツ『泰平を演じる 徳川期日本の政治空間と「公然の秘密」』をめぐる
 - ・ 著者ルーク・ロバーツ（カリフォルニア大学教授）より
 - ・ 翻訳者友田健太郎（放送大学大学院博士後期課程）より
- ロバート・ヘリヤー『海を越えたジャパン・ティー 緑茶の日米交易史と茶商人たち』をめぐる
 - ・ 著者ロバート・ヘリヤー（ウェイクフォレスト大学教授）より
- コメント
 - ・ 三谷博（東京大学名誉教授）より

※参加費無料、要事前申込 ([こちら](#))

主催：東京大学史料編纂所/東京大学史料編纂所維新史料研究国際ハブ拠点形成プロジェクト

共催：JSPS 人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業（JPJS00319217592）/JSPS 科学研究費補助金基盤研究 A 「在外日本関係史料の調査と貴重史料の研究資源化による維新史料研究国際ハブ拠点の形成」（20H00023）/JSPS 科学研究費補助金基盤研究 B 「日本近世史科学の再構築 ―基幹史料集の多角的利用環境形成と社会連携を通じて」（22H00692）